

研究課題名	日本に於けるCOVID-19患者での血栓症・抗凝固療法の診療実態を明らかにする研究
研究の意義・目的	本研究は福島第一病院が中心となって行う研究です。新型コロナウイルス感染症では、血栓症と呼ばれる血の塊が体内に出来る病態の危険性が高いと言われておりますが、日本でのその実態や最適な管理方法は不明な点があります。今回、それらを調査・評価する事を目的とし、日本での同病態に対する一番良い治療方針が明らかになる意義があります。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～ 2022年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2021年4月～2021年9月に下記の研究機関で、新型コロナウイルス感染症の治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像結果】
試料・情報の他機関への提供	この研究は福島第一病院へ頂いた情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	愛知医科大学病院（丸山優貴）、福島県立医科大学（佐戸川弘之）、兵庫県立尼崎総合医療センター（西本裕二）、北海道大学病院（辻野一三）、関西医科大学総合医療センター（坂下英樹）、横須賀市立うわまち病院（中田弘子）、京都大学医学部附属病院（奥野善教、山下侑吾）、三重大学医学部附属病院（荻原義人）、JCHO 東京新宿メディカルセンター（谷地織）、横浜南共済病院（孟真）、東京慈恵会医科大学附属柏病院（戸谷直樹）、市立函館病院（新垣正美）、長崎大学病院（池田聡司）、浜松医療センター（山本尚人）、筑波メディカルセンター病院（相川志都）、桑名市総合医療センター（山田典一）、東邦大学医療センター大橋病院（池田長生）、松江赤十字病院（石黒眞吾）、JCHO 南海医療センター（岩田英理子）、気仙沼市立病院/東北大学病院（梅津道久）、四国こどもとおとなの医療センター（近藤朱音）
試料・情報を管理する責任者	福島第一病院 心臓血管病センター 心臓血管外科部長・病院長 小川 智弘
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学 （担当者氏名）林 浩也 電話番号：(06) 6645-3801